



鯉の城、藍に染まる

藍染めのキャンバスにめでたい絵柄が続々登場

筒描きって何でしょう？

柿洪紙を漏斗状に丸めた「筒」の中に、餅粉で作った糊を注入し、

下絵にそって絞り出しながら描く染色技法です。

糊を置いた部分は、藍染液に布を浸けても藍色に

染まることなく、絵柄の色合いを工夫できます。

筒描きの絵柄は、健康長寿や子孫繁栄などの、

めでたい画題(テーマ)に基づくことが多く、

これらは絵画・美術工芸品でもよく見られるテーマで

ある程度決まった表現方法があります。「鶴亀」、「鳳凰」、「唐獅子牡丹」、

「宝尽くし」などのテーマを、大胆でかつ、のびやかな線でユーモラスに、ある

ときは勇猛な姿や気品に満ちたタッチで表現し、私たちの目を楽しませ、

晴れやかな日を演出する筒描き

ほのぼのとした気分にもさせてくれます。江戸時代中頃から全国的な

木綿と藍の普及に伴って発達した筒描きの技法は、幕府や諸藩の

儉約令によって、ぜいたくを禁止された庶民の生活の中で、

彩りと潤いをもたらしました。

とりわけ婚礼のために、紺屋に発注する布団表や

風呂敷などは、晴れの場を飾る貴重な一品となりました。

本展では、筒描きの価値に早くから着目し

蒐集された、故水野義之氏の「寶水堂コレクション」

から筒描きの絵柄のおもしろさ、藍染めの奥深さ

それらを生み出した日本人のスピリッツを

ご覧いただきたいと思えます。



期間中のイベント

●「筒描き」ギャラリートーク

申込不要・参加費不要(※要入館料)

2月18日(日)、3月11日(日) 11時と14時 各約30分

場所：天守閣第四層
解説：寶水堂コレクション主宰 水野恵子氏
筒描きの魅力について解説

●展示ガイド

申込不要・参加費不要(※要入館料)

期間中の日曜日・祝日(2月18日、3月11日を除く)
11時と14時 各約15分

場所：天守閣第四層
学芸員が展示の見どころを紹介

●「投扇興」雅な的当てゲーム

(浅野42万石バージョン)

申込不要・参加費不要(※要入館料)

3月3日(土) 13時～15時の間
場所：天守閣第二層武家屋敷付近
定員50名

扇を的に投げ、落ちた状況によって
点数をつけて競う。

もれなく、広島城記念品プレゼント

◆フィールドワーク

「広島城の堀を訪ねて」

3月17日(土) 13時～16時
(※雨天の場合、翌18日)

場所：広島城跡内外 定員18名
かつて存在した広島城の堀の跡を巡ります。
申込：往復はがきに、事業名、全員の氏名、
年齢、住所、電話番号を明記のうえ、
広島城まで。
応募締め切り3月7日(水) 必着
(応募者多数の場合は抽選)

藍と木綿のコラボレーション



広島城へのアクセス

広島駅から
・徒歩：約25分・バス：広島駅南口Bホーム7・8・9番乗り場から合同庁舎前経由のバスで「合同庁舎前」バス停下車。北西へ徒歩約8分
・市内電車：1・2・6番電車で「紙屋町東」電停下車。北へ徒歩約15分

その他アクセス
・アストラムライン：「県庁前駅」から徒歩約12分・「新白鳥駅」から徒歩約17分・広島バスセンターから：北へ徒歩約12分
・観光ループバスめいぶる(「広島駅新幹線口」バス停発)：オレンジルート・レモンルート「広島城(護国神社前)」バス停から徒歩約6分

お車での来城
・山陽自動車道 広島ICから国道54号線を市内中心部方面へ、車で約20分・広島城跡内には駐車場はございませんので、周辺の一般駐車場をご利用ください。・城南通り南側、翔洋テニスコート(中央庭球場)地下の広島市中央駐車場(Tel.082-227-2110)が便利です。広島城天守閣に入館し、ミュージアムショップで中央駐車場の駐車券をご呈示いただくと、30分の駐車場料金サービス券をお渡します。

公益財団法人広島市文化財団

広島城

